

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	交流・環境	26年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港跳上橋整備事業	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7819 港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	県民市民に対して			事業 期間	平成25~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	名古屋港跳上橋の歴史資源としての保存を図ります。				
概要	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置付けられている(国登録有形文化財、近代化産業遺産)、名古屋港跳上橋の保存を図るため、塗装、鋼材補強及び基礎コンクリート補強等を行うものです。				根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	名古屋港跳上橋の保存を図ることにより、名古屋港の貴重な歴史が語り継がれようという事業効果が見込まれます。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	名古屋港跳上橋の保存のため、橋脚補修や鋼材補強を行います。				関連 シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	予定通り、名古屋港跳上橋の橋脚補修や鋼材補強を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	35,571	0	34,819	70,390	平成26年度は工事入札の不調により施工が平成27年度に延期となったことから、事業費を計上していません。
人件費	千円	2,453	2,467	1,784	6,703	
合計	千円	38,024	2,467	36,603	77,093	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	100.0	100.0	100(累計)		文化財である跳上橋を保全するために保存を図るための整備進捗状況を指標としました。	
	実績	49.0	49.0	100.0				
	事業進捗状況(27年度)		順調、やや遅れ・遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成27年度にて保存を図るための整備が完了しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 本組が管理する歴史的景観資源として名古屋港跳上橋を保全していく必要があります。						
有効性	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 本組が管理する歴史的景観資源として名古屋港跳上橋を保全することは、上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。						
効率性	期待どおりの成果が得られているか?	○ 保全を目的とする必要最小限の補修にとどめております。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			歴史的景観資源である跳上橋の保存を目的とした工事が完了したため。
課題		28年度以降の取組	